

## モニタリング結果報告書

施設 設 神奈川県立相模湖交流センター

指定管理者 アクティオ株式会社

施設所管課 土地水資源対策課

(平成 23 年度 上(下)半期)

## 管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月6日	5月20日	月報で適切に業務が行われていることを確認し、改善すべき業務は認められない。
5月	6月21日	6月29日	月報で適切に業務が行われていることを確認し、改善すべき業務は認められない。
6月	7月15日	7月29日	月報で適切に業務が行われていることを確認し、改善すべき業務は認められない。 報告書の誤り（施設利用料の一部漏れ）が8月23日に判明し、現地確認等で原因及び業務改善について別途確認し、改善すべき業務は認められない。
7月	8月16日	9月9日	月報で適切に業務が行われていることを確認し、改善すべき業務は認められない。
8月	9月14日	9月21日	月報で適切に業務が行われていることを確認し、改善すべき業務は認められない。
9月	10月14日	11月17日	月報で適切に業務が行われていることを確認し、改善すべき業務は認められない。

## 2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

## &lt;提案内容の概要&gt;

「アクアロジカル・コミュニケーションセンター」（循環する水・様々な交流の場）として、次の（1）～（5）の視点で多様な自主事業の開催により利用者の拡大を図る。

（1）平和・友好・共生のシンボル

- (2) 水源地域の自然の保全をPRする場
- (3) 活性化のためのハブ機能として
- (4) 豊かな自然、美しい水と触れ合う場所として
- (5) 様々な交流の場を提供する「コミュニケーションセンター」

### <実施状況>

自主事業

地元住民の意見などを踏まえ、当初提案を上回る事業の開催があった。

(ホール関係)

事業名	交流の種類	日付	参加者数
みんなで楽しく歌声サロン (山形ゆう子の会)	地域の活性化 (周辺地域住民の交流)	6月4日 9月10日	158名
やまなみスマイルトーク & ライブ (北原照久 & テミヤン)	多様な交流 (水源地域住民と横浜等の下流域住民との交流)	7月17日	54名
遠藤征志ピアノワールド	多様な交流 (子どもから大人まで)	7月23日	176名
サリナ・ジョーンズコンサート	地域の活性化 (周辺地域住民の交流)	8月3日	229名
鳥羽一郎 特別講演	上流域と下流域の交流 (元漁師から水源地へのメッセージ)	8月20日 (昼夜2回)	369名
チェンミン二胡コンサート	自然を通じた文化とのふれあい	9月4日	281名
東京フィル弦楽合奏団コンサート	多様な交流 (水源地域住民と下流域住民との交流)	9月18日	89名
吉俣良祈りのシマ唄コンサート	自然を通じた文化とのふれあい (相模湖の自然と文化を体感)	9月23日	109名

(ギャラリー関係)

事業名	交流の種類	日付	参加者数
巨大なものに絵を描こう (巨大ボードに絵)	水源地域の自然の保全とそのPR	7月18日～ 8月31日	73名
和風ドールハウス「名残の陽だまり」展	水源地域の自然の保全とそのPR	8月24日～ 8月28日	1,100名
相模鈴に絵を描こう	水源地域の自然の保全とそのPR	8月24日～ 8月28日	130名
週末体験教室 (地元の子どもを対象)	自然を通じた文化とのふれあい	8月13日	10名

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	87,195 (102,956)	80,470 (88,230)	6,200 (-)	525 (14,726)	87,195 (102,956)	0 (0)
上(下)半 期予算額	43,555	40,230	3,100	225	43,555	0
4月	7,239	6,705	530	4	5,464	1,775
5月	7,266	6,705	551	10	4,674	2,592
6月	7,559	6,705	849	5	5,610	1,949
7月	7,492	6,705	763	24	5,747	1,745
8月	7,932	6,705	711	16	6,678	754
9月	7,119	6,705	401	13	6,349	770
今年度 半期計	44,107	40,230	3,805	72	34,522	9,585
前年度 同期計	58,853	44,271	-	14,582	35,976	22,877

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。  
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。  
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①該当なし

②県の方針に準じて節電を行い、上半期の電気代が昨年同期比約150万円減となったほか、下半期に計画している修繕のため、空調機（燃料：灯油）の設定温度や運転方法等の最適化により、上半期の灯油代約50万円の支出を抑制した。

③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等  
該当なし

100万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期		
下半期		
総額		

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	2,537人	3,907人	△35.1%
5月	2,620人	4,665人	△43.8%
6月	3,307人	4,465人	△25.9%
7月	4,588人	6,512人	△29.5%
8月	5,645人	4,903人	15.1%
9月	4,230人	4,215人	0.4%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	※ 人	22,927人	28,667人	%	△20.0%
今年度下半期計	-人	-人	-人	%	-%

※ ホール及びギャラリーの利用率

目標値 ホール 80% ギャラリー 65%

実績 ホール 76.9% (113/147) ギャラリー 38.9% (61/157)

#### 利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

#### <意見等>

①4月から7月までの利用が前年より大幅に落ち込んだ理由は、東日本大震災の影響等により行事等が中止又は日程が短縮されたためである。

中止となった主な行事は、やまなみ祭(4月)、ピアノ教室の発表会(6月)、シュタイナー学園祭及び福前体操発表会(7月)であり、日程短縮となったものとしては、市民文化祭津久井地区合同発表会(5月)などである。

このような中止や日程短縮により、約6千人の減となったが、対応策として、7月以後毎月自主事業を開催したことにより、8、9月は対前年比で利用者の増加に転じた。

②該当なし

#### 5 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分) 該当なし

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
月	( )	( )	( )	( )	( )	( )
合計	( )	( )	( )	( )	( )	( )

## 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

該当なし

（事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。）

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

## 9 上(下)半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>(住民参加型の運営) 上半期は、地元の方々の意見の把握のため、地元企業、自治会の方々や、まちづくりの会会長等のいわゆる地元キーパーソンと数多く意見交換を行い、ホールの活用など希望に添ったコンサートなどを開催し、地元から大変好評を得ており、今後とも継続したい。さらなる住民参加をすすめるために、外部アドバイザー制度を立ち上げるべく現在準備中である。</p> <p>(ギャラリー活用) 企画担当を置き、その者に専念させ、名残の陽だまり展等水源地の特色を生かした行事の成功に結びついた。</p> <p>(職員対応) 職員に、事業遂行のために維持管理はあるとの意識付けを徹底し、サービス業としての自覚を促した結果、館の雰囲気、職員の利用者対応が見違えたとの評価を頂いている。一層好感を持たれる館運営に努力する。</p>
施設所管課	<p>(施設利用) 東日本大震災等の影響により、上半期の多目的ホールの利用率が76.9%と、目標の80%を下回っているが、提案時を上回る自主事業の展開等により改善が認められ、指定管理者が利用率の向上や利用者の増加に努める点は評価できる。ギャラリーを含めた施設全体について、下半期の利用率の向上に期待したい。</p> <p>(施設管理) 節電の実施により、上半期の電力使用量を去年同期比で4割削減、最大需要電力量を同じく平均2割削減しており、事業者の目標値の最大需要電力量15%削減を達成している。また石油使用量の抑制で去年同期比33%の削減も実現しており、下半期の効率的な施設管理とともに、修繕についても計画的な執行を期待したい。</p> <p>(報告業務) 6月分の報告は、担当者の転記ミスが原因で訂正を要することとなったが、指定管理者が、原因及び改善を検討、実行した結果、7月分以後では、同様の事態は起きていない。今後も、継続した業務の遂行を期待したい。</p>